

市民性や公共性を育て、心を耕し、 将来の社会を担う資質・能力を育成

香川県 善通寺市教育委員会 教育長 森 正司^{まさし}

全校の児童・生徒による連合児童会・生徒会を開くなど、市民性や公共性の育成に力を入れる香川県善通寺市。新たな教育活動では、モデル校の分担や外部連携により、教員の負担増にも配慮しながら活動の充実を目指しています。

もり・まさし 香川県の公立小学校教諭、香川県教育委員会義務教育課課長、善通寺市立東部小学校校長、香川県小学校長会会長等を経て、2010年1月から現職。

15年間の教育の連続性を 踏まえた教育方針を共有

本市では、「子育てと教育の充実」を市の総合計画の重点目標の1つとしています。「学んでよかった・学びつづけたいまち 善通寺をめざして」を掲げて行ってきた様々な教育施策の成果もあり、子育て世代の定住人口が増え、人口減が抑えられている状況です。

教育施策において大切にしているのは、保育所・幼稚園から小・中学校までの15年間を見据えた育ちと学びの連続性を保ち、学校・家庭・地域が相互に連携・協働して教育に取り組むことです。子どもの成長は、学校段階や場所で区切られているわけではないからです。例えば、本市の教育方針を示したパンフレットは、小・中学校はもちろん、すべての保育所・幼稚園及び家庭に毎年配布し、市の教育施策への広く、継続的な理解を図っています。

学校づくりに参加する体験が 市民性・公共性を育む

育成を目指す資質・能力として、まず重視しているのは、「豊かな人間

性」です。私自身、自分が生まれ育った本市の素晴らしさや、ふるさとを愛する心を持つことの大切さをよく分かっているつもりです。本市の未来を担う子どもたちには、心を耕し、市民性や公共性を育みたいと考えています。そのために、ここ数年、力を入れているのが、「ふるさと教育」と「シティズンシップ教育」です。

ふるさと教育としては、例えば、2014年度から、本市の偉人である空海の生涯と考え方をまとめた副読本を作成し、小学6年生への進級時に配布しています。社会科や「総合的な学習の時間」の地域学習などで活用しています。卒業後も手に取って読み返してほしいと考え、丈夫な装丁としました。

シティズンシップ教育としては、2015年度から連合児童会・生徒会を始めました。毎年8月に、市立小・中学校全10校の児童会・生徒会の役員が集まります。1泊2日で、いじめ問題や学校・地域のために自分たちができることについて、各校の取り組みを共有し、学校・学年混合のグループで話し合いをしています。そこで得たことを自校に持ち帰り、

今度は周りの児童・生徒をリードして具体的な活動を検討していきます。実際、あいさつ運動や地域の清掃活動などを始めた学校もあります。

市民性・公共性といっても、子どもにはぴんとこないでしょう。しかし、市民性や公共性を持つ大人になるためには、自分が通う学校づくりに取り組むことがその第一歩となると考えました。そうした経験を小・中学校時代から積み重ねることによって、18歳で選挙権を得た時に地域のことをしっかり考えられる市民となり、ひいては持続可能な社会づくりやSDGs^{*1}の意識を持つことにもつながると期待しています。

エビデンスを基にして より効果的な指導改善を図る

市民性や公共性などの育成は、人間としての土台となる、いわば教育の不易にあたります。それらを基盤とし、今後の社会で求められる資質・能力を育成することも重視しています。

例えば、英語教育では、英語教育推進リーダーが中心となって作成した指導案やCAN-DOリストを市内すべての公立小学校で共有し、指導

*1 Sustainable Development Goalsの略。2015年に国連が掲げた、持続可能な開発目標のこと。「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」など、17の目標と169のターゲットから成る。



の統一を図っています。先日行った各小学校の教頭と6学年担任、小学校での授業も行う中学校英語科教員が参加した会合では、学級担任がT1として、授業を進める重要性を改めて共有しました。また、2018年度からは、小学6年生全員が英語4技能検定「GTEC」*2を受検し、その結果を小・中をつなぐツールの1つとして、指導改善に生かしています。

以前は、本市の子どもの英語力には課題がありましたが、今は学校間の英語力の差が小さくなるなどの改善が見られ、中学校入学後の指導がスムーズになっています。

リーディングスキル（読解力）の向上にも取り組んでいます。国立情報学研究所が開発したリーディングスキルテストを、2018年度は中学2年生全員が受検しました。2019年度は中学生全員と中学校教員が受検する予定です。2020年度から実

施される「大学入学共通テスト」では、どの教科・科目でも読解力が重視されています。その対応を早い段階から始められればと考えました。

モデル校形式で成果を共有し 新しい教育活動への負担を抑える

ほかにも、ICTを活用した学習やプログラミング学習など、新学習指導要領で求められている学びや指導のあり方について、研究と実践を深めるべき領域はたくさんあります。一方で、多忙な現場への負担は最小限に抑えたいという思いも強くありました。

そこで、とりわけ本市が重視したいと考える英語教育、ICTを活用した学習、プログラミング学習、非認知スキル育成の4分野について、先進的に取り組んでいただく学校をモデル校とし、各分野を分担して集中的に研究を深めてもらうことにしました。その成果を全校で共有する予定です。

その際には、企業や大学などと積極的に連携し、専門家の知見を得ることで教員の指導力向上を図り、より充実した教育活動にするとともに、教員の負担減にもつなげたいと考えています。例えば、プログラミングの専門的なスキルはICT支援員などに任せ、教員は教科目標を達成しつつ、プログラミング的思考力の育成に向けた指導力を高めることに力を注げるようにしていきます。

本市には若手教員が多く、管理職やミドルリーダーがリーダーシップを発揮することが、教育の質向上の鍵になります。各校がカリキュラム・マネジメントを推進して不易と流行のバランスが取れた教育活動を行えるような、働きやすい環境を整えるための、教育委員会の支援が問われています。教員研修の拡充や外部との連携など、様々に工夫し、現場を支援していきたいと思えます。

香川県善通寺市 プロフィール

◎香川県の北西部に位置する。古代から文化の中心として栄え、有岡古墳群を始めとした大小400基もの古墳や遺跡が残されている。平安時代に空海（弘法大師）が建立した善通寺を中心に発展し、四国八十八箇所のうち5霊場を有する。空海ゆかりのもち麦を特産品として生産・販売に力を入れている。人口 約3万2,000人 面積 約40km² 市立学校数 小学校8校、中学校2校 児童・生徒数 約2,300人 電話 0877-62-2121（代表） URL <https://www.city.zentsuji.kagawa.jp/>

*2 ベネッセが提供する、スコア型英語4技能検定。